

平成23年10月25日

平成23年度「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的
海外派遣プログラム」の採択について

独立行政法人日本学術振興会の平成23年度「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム」に下記の本学の取り組みが採択されました。

本プログラムは、大学などが世界水準の国際共同研究に携わる若手研究者を海外へ派遣し、様々な課題に挑戦する機会を提供する取り組みを支援するもので、公募形式で実施しているもの。

平成23年度、本学からは3件申請し、次の2件が採択されたもの。
(平成22年度は、5件申請し、採択は1件。)

記

○プログラム名：実験・理論・合成の連携グループによる次世代機能性分子創出のための海外共同研究

実験・理論・合成の各グループの研究を統合して各グループが独自に行なってきた海外の研究機関との共同研究を有機的に連携し、より高い次元の国際共同研究「次世代に繋がる新規な機能性分子を創製」を計画する。この研究遂行のために、将来的に Qulis が目指す機能性分子科学研究拠点の中心メンバー候補となる若手研究者を派遣する。

○プログラム名：国際歯学共同研究推進を通じた国際歯学コース指導者養成のための頭脳循環プログラム

東南アジア地区歯科医師過疎地域の教養課程修了者を広島大学歯学部へ招き4年間専門教育を施した後に、臨床実習から再び母国において教育を行うジョイントプログラム、国際歯学コースを開設する。

歯学部で教育を受けた東南アジアからの学生が将来的に母国で指導的立場に立つような革新的な歯科医学教育プログラムの構築を目指している。

欧米の研究期間に若手研究者を派遣し、先進的研究を共同して行うことで将来的に国際共同研究へ発展させる。また、英語によるプレゼンテーション・討論能力あるいは教育力の向上を目指すことで、将来的に母校において先導的立場に立つ素養を養成する。

【お問い合わせ先】

平和・国際室
国際交流グループ 梅下 健一郎
TEL:082-424-6045, FAX:082-424-6179